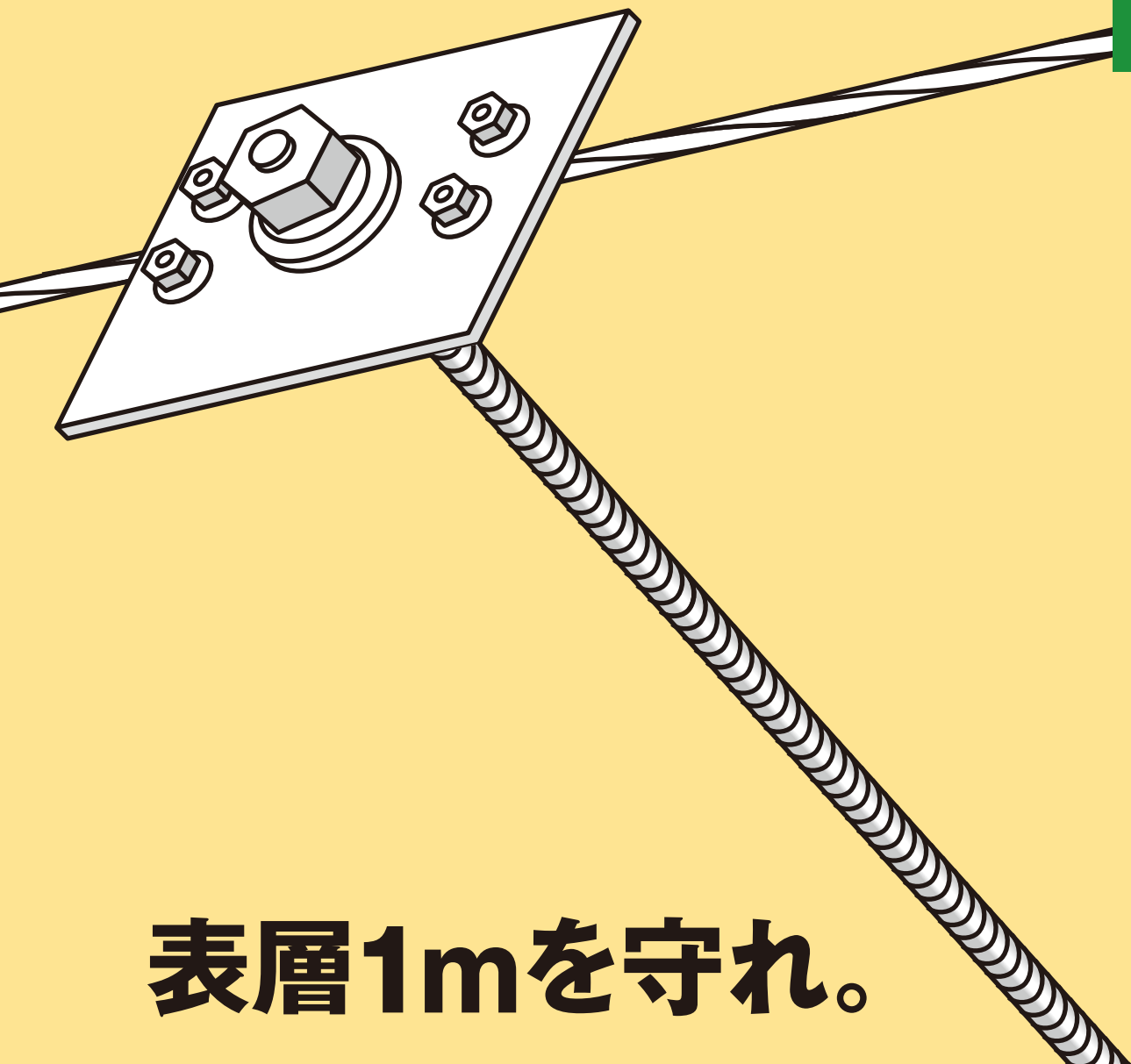




表層1mを守れ。

RON STRONG NET

ロンストロングネット



それは、人を守る緑。

ロンスト 株式会社

「守りたい」という 強い意志が実現した 表層1mまでの崩落抑制。

緑化によって法面を守ってきたロンタイ。

課題であった「根より深い範囲での崩落対策」として

「ロンストロングネット工法」を開発しました。

この工法は、ワイヤロープと金網を

アンカー材で固定することで「深さを強化」し

表層1mまでの崩落抑制を実現しました。

緑化メーカーだからこそ、施工後の緑化にもこだわり、

早期緑化や生態系の回復を高いレベルで実現します。

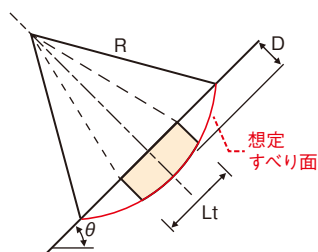
自然災害の脅威にさらされる昨今

「大切なものを守る」とは全国民の願いです。

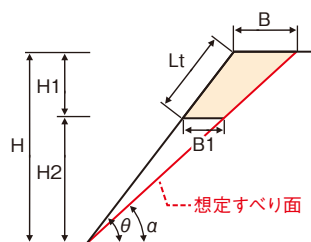


想定する崩落モデル

法面中間崩落タイプ



法肩くさび型崩落タイプ



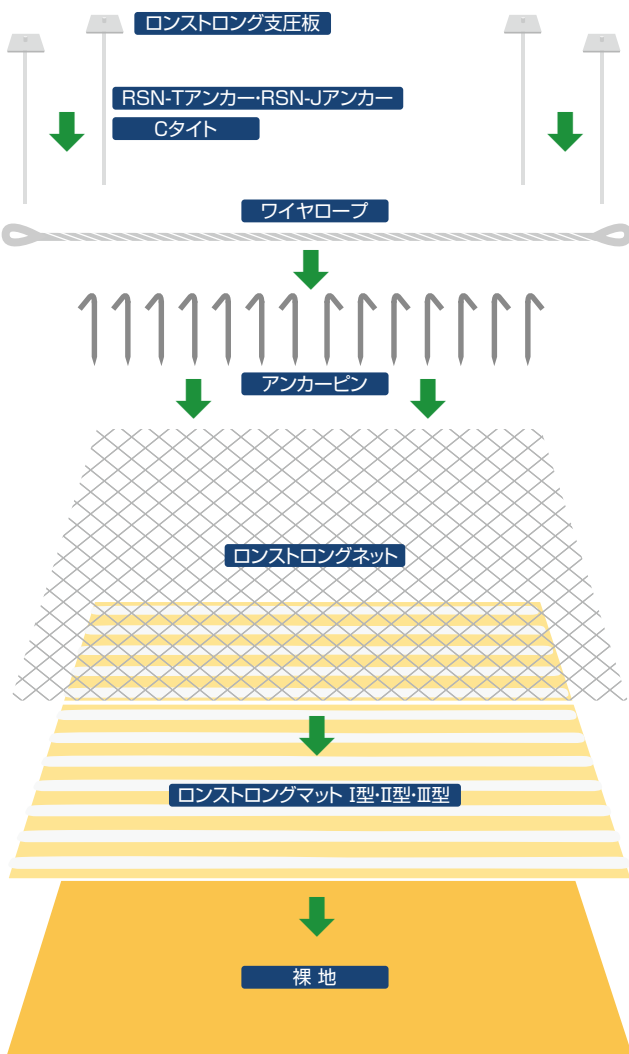
これらの崩落タイプに対し、表層1mまでの抑制効果を発揮する。

深さを強化し、表層 1m までの崩落抑制を実現したロンストロングネット工法。

ロンストロングネットは、緑化工法では出来なかった「表層 1m までの崩落抑制」を可能にしました。アンカー材やワイヤロープを組み合わせた「ロンストロングネット工法」は、全面緑化を可能にします。

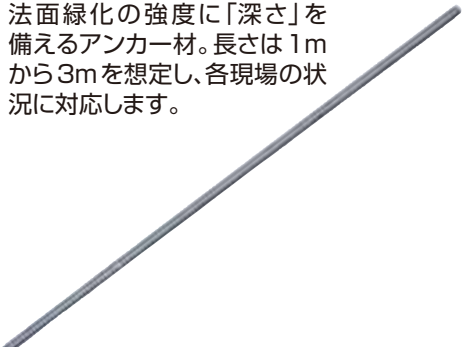
POINT1
緑化だけでは防ぎにくい「深さ」に対応しました。

法面全体を覆う金網とワイヤロープをアンカー材で固定することにより、緑化だけでは防げない「表層 1m までの崩落抑制」を可能にしました。さらに植生マットが全面的な緑化を果たすことで表面侵食を防止しつつ美観を形成します。



ロンストロング
ネット
5つの
アイテム

**1 RSN-Tアンカー
RSN-Jアンカー**
法面緑化の強度に「深さ」を備えるアンカー材。長さは 1m から 3m を想定し、各現場の状況に対応します。



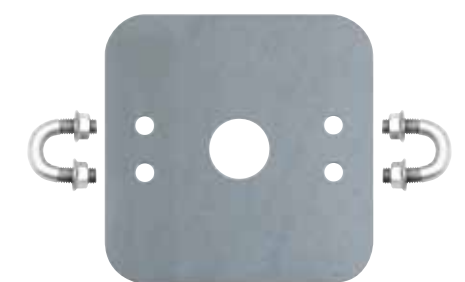
2 ワイヤロープ
RSN-Tアンカー・RSN-Jアンカーの頭部を水平方向に連結して、「横梁」の役割を果たします。



3 ロンストロングネット
ワイヤロープと結合することで法面全体をガッチリと抑え込みます。



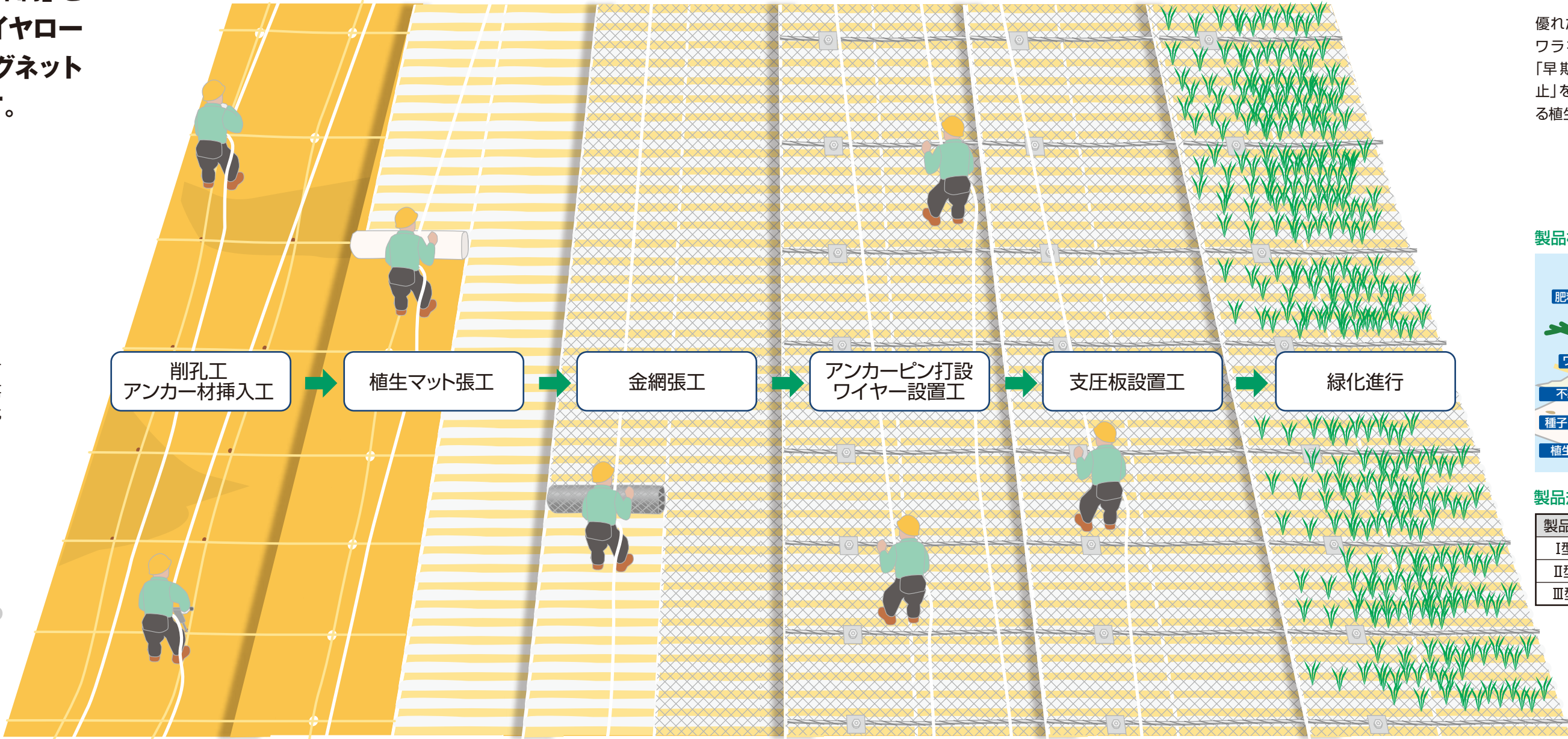
4 ロンストロング支圧板
RSN-Tアンカー・RSN-Jアンカー頭部に取り付け取り付け、Uボルトを用いてワイヤロープを固定。金網と植生マットを抑え込みます。



5 ロンストロングマット I型・II型・III型
専用植生マット「ロンストロングマット」によって早期緑化を果たし、法面表面を保護するとともに、自然回復を促進します。



ロンストロングネット施工イメージ

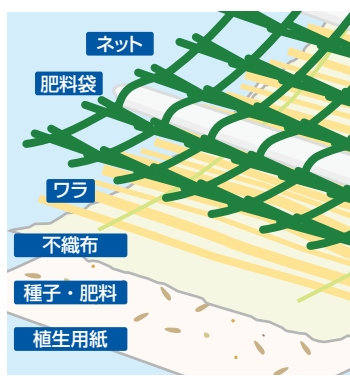


POINT2
植生マットには新開発の
ロンストロングマットを
使用。

優れた緑化資材である、ワラを装着することで「早期緑化」と「侵食防止」を高レベルで実現する植生マットです。



製品構造図



植生マットの選択
生物多様性に配慮した緑化を検討する場合は、自然侵入促進型や国内産種子配合の植生マットも選択が可能です。

製品規格

製品名	巾	長さ	1 梱包	間隔
I型	1.0m	10m	10㎡	肥料袋 40cm
II型		8m	8㎡	肥料袋・基材袋 各100cm
III型		8m	8㎡	肥料袋・基材袋 各50cm

【備考】アンカーピン・止釘は別売りです。マットの選定については裏面をご確認ください。

POINT3
人力だけで施工が可能。

ロンストロングネットは人力施工だけで設置可能。小規模な法面やヤードが狭い場合、ヤードから法面までの距離が遠い場合など特に有効です。



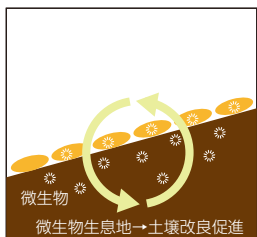
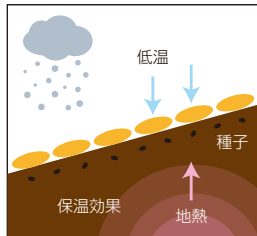
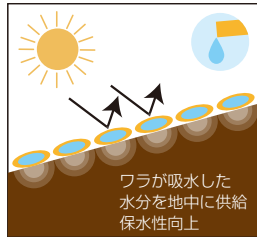
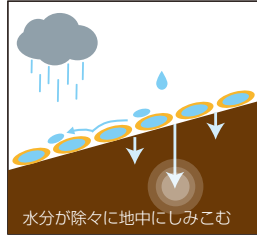
工法による緑化の違い

全面緑化のロンストロングネットとは異なり、従来の簡易吹付のり砕工の場合、緑化を行っても柵の梁部分は緑化できないため、景観が損なわれる。



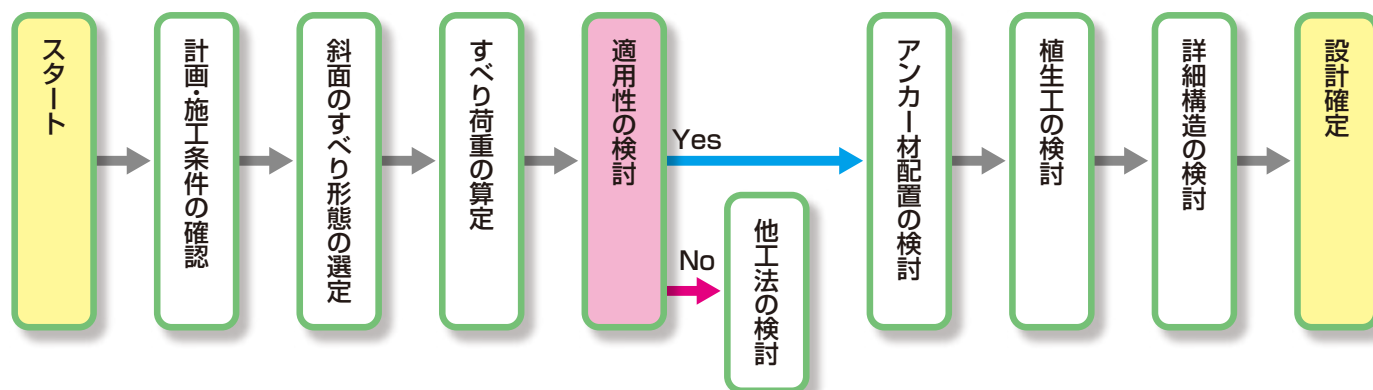
ワラを使う4つのメリット

- 1. 侵食防止**
法面をワラで保護することにより、地中にダイレクトに雨水が入るのを防ぎます。
○雨滴衝撃の緩和
○流下水の流下速度緩和
○ワラの吸水による流下水の減少
- 2. 断熱性・保水性**
直射日光を遮断し、地中の水分を調整できます。
○表土の乾燥抑制
○直射日光遮断
- 3. 保温効果**
冬の低温から種を守ります。
○冬の低温から種子を保護
○越冬時の発芽率を維持
- 4. 環境保全**
ワラは周辺環境の保全に貢献します。
○植物成立後、ワラは分解され養分へ
○元来の周辺環境・生態系に影響を与えない
○飛来種子もキャッチ

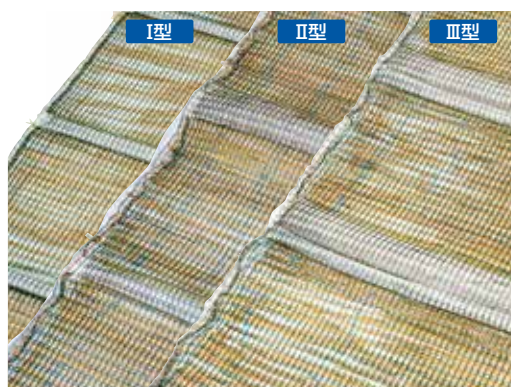


自然の力を最大限に利用し、
植物の発芽・生長を促します。

設計手順



ロンストロングマットの選定方法



植生マットの選定早見表

土壌硬度	土質又は 風化の程度	該当する吹付厚	斜面勾配 1:0.5勾配まで
10mm未満	砂質土	1cm未満 (厚み設定無し)	ロンストロングマットI型 「土中に礫を多く含む場合」は ロンストロングマットII型
	粘性土		
10～23mm	砂質土	1cm	
	粘性土		
23～27mm	砂質土	2cm	ロンストロングマットIII型
	粘性土		
27～30mm	強風化	3cm	
	弱風化	3～5cm	
30mm以上	－	3～10cm	吹付厚相当の植生マットを別途選定

(注1)「道路土工」切土工・斜面安定工指針の「草本類播種工等」記載内容から抜粋、整理した表。

(注2)部分的に1:0.5より急な勾配部を含むような法面の場合、土砂崩落の抑制及び表面土砂の侵食防止を優先するため、そのまま植生マットの適用を検討する。

施工実績

奈良県



施工前



施工後



初期緑化状況



それは、人を守る緑。

ロンタイ®株式会社

[本 社] 〒570-0011 大阪府守口市金田町3丁目1番11号
TEL. (06) 6902-9401 (代表) FAX. (06) 6905-9070
https://www.rontai.co.jp/ E-mail: info@rontai.co.jp

[支 店] 札幌支店 (011) 823-5780 / 仙台支店 (022) 797-4148
関東支店 (048) 657-4148 / 静岡支店 (0545) 85-1900
大阪支店 (06) 6902-9405 / 広島支店 (082) 835-0525
四国営業所 (0897) 67-1021 / 福岡支店 (092) 933-1582
鹿児島営業所 (099) 283-0415